

令和4年度の部活動支援の取組みについて

1 主旨

区立中学校の部活動に関わる人材の支援として、「世田谷区立中学校部活動支援員の設置及び活動に関する要綱」に基づき、地域人材等が部活動支援員として活動する取り組みを行なっている。また、この他にも、大会参加費等の補助等を通じて、区立中学校の部活動の充実に向けた支援を行っている。

令和2年9月に文部科学省より発表された、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革が令和5年度から全国展開されることに伴い、引き続き、専門的な知識や経験を活かした技術指導が行える人材を部活動支援員としてさらに多く確保する必要がある。

令和4年度については、次のような取り組みを進めることにより、部活動支援員の人材確保を図る。

2 支援の内容

(1) 部活動支援員マッチング業務委託

部活動支援員のマッチング事業について、人材の選定や配置管理に精通した事業者
に、業務委託する。

① 委託事業内容

- ・事業者が、学校からヒアリング等を行い、要望に沿った人材を紹介する。
- ・学校は、事業者が紹介した部活動支援員候補者と面接したうえで、要望に適した者を部活動支援員として委嘱する。
- ・委嘱を受けた支援員は、年度を超え、継続した部活動支援を行う。

② 令和3年度実績

- ・10件（支援を行った部活動：水泳、卓球、バスケットボール等）
- ・同部活については、令和4年度も支援を継続する。

③ 令和4年度の取り組み

- ・新たに、事業者10件のマッチングを行う。

④ 概算経費 上限 2,050,000円（税込）

⑤ スケジュール（予定）

令和4年4月	マッチング業務委託事業者公募型プロポーザル公告
6月	事業者選定
7月以降	事業開始

（裏面あり）

(2) 大学生による世田谷区部活動支援員への協力

区内の大学・短期大学、一部の区外の大学と連携し、区立幼稚園及び区立小・中学校への、学校運営や学校行事の支援や、配慮を要する児童・生徒への支援を行う「学生派遣事業（大学生ボランティア）」を進めている。

引き続き、区内大学に向けて、大学生の部活動支援員制度をより広く周知し、支援員への協力の拡大を図る。

(3) (一財) 東京学校支援機構（TEPRO）のサポーターバンクの活用

東京学校支援機構（TEPRO）は、学校をサポートし、教員の働き方改革を推進するため、東京都教育委員会が令和元年度に設立した機関で、サポーターバンクを通して、多種・多様な外部人材を広域的に確保し、学校の求めに応じた人材の情報を提供している。世田谷区においても、学校生活サポーターの確保を中心に、一部の学校がサポーターバンクを利用している。

今後は、各中学校に対し、改めてサポートバンクを周知するとともに、学校が、より、部活動支援員となる人材を確保できるよう、操作方法等の周知を進める。

(4) 世田谷区スポーツ振興財団のスポ・レクネットの活用

スポ・レクネットは、地域で活動するクラブや団体、学校部活動の安定した継続を目的に、区民や団体、学校からの要請に応じ指導員を紹介する、世田谷区スポーツ振興財団の取り組みである。

区では、世田谷区スポーツ振興財団と連携し、部活動指導者としてスポ・レクネットに登録している者や、新たに登録しようとする者に対し、部活動支援員制度の周知を進めていく。合わせて、各区立中学校に対してスポ・レクネットの周知を図る。

(5) その他

令和4年度は、民間事業者を活用した部活動への技術指導者の支援など、新たな手法について、検討を進める。